



第20期 中間報告書

2016.04.01 ~ 2016.09.30

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.advanced-media.co.jp/ir/) に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要 (2016年9月30日現在)

会社名	株式会社アドバンスト・メディア
設立	1997年12月
資本金	49億7,309万円
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、他
所在地	本社 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 サンシャインシティ文化会館6階 Tel:03-5958-1031 (代表) Fax:03-5958-1032
連結子会社	AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) 株式会社グラモ Glamo America, Inc. (米国) 株式会社速記センターつくば
関連会社 業務提携先	True Voice Company Limited (タイ王国) Multimodal Technologies, LLC. (米国)

昨日のありえないを、明日のあたりまえに。

人と機械が声でつながり、話した言葉が情報としての価値を持つ。
「**AmiVoice®**」が実現するのは、人と機械、
人種や文化さえも超える、まったく新しいコミュニケーションです。
誰も想像さえしなかった未来を、明日のあたりまえとするために。
私たちアドバンスト・メディアの挑戦は、続きます。

株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773



連結業績概要

売上高

- 音声認識技術を活用した議事録作成や文字起こしが、自治体と並行して民間企業でも拡がり始めたことや、製造・物流分野や建築分野における音声入力需要の増大が音声認識市場を着実に広げてきております。よって、売上高に関しましては、ほぼ全ての事業部門および子会社において当初計画通りに推移いたしました。
- 連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) においては、タイ大手通信事業者であるTrueグループとの事業展開が遅延し当初計画を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は912百万円（前年同四半期は売上高824百万円）となりました。

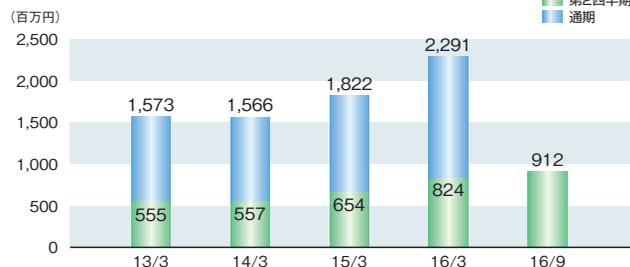
損益

- 売上総利益率および販管費が計画通りに推移し営業損失はほぼ当初計画通りとなりました。
- 経常損失は想定レートを上回る為替相場の変動により、為替差損が発生し当初計画を大幅に下回りました。

これらの結果、営業損失は269百万円（前年同四半期は営業損失320百万円）、経常損失は563百万円（前年同四半期は経常損失200百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は548百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失19百万円）となりました。

財務ハイライト

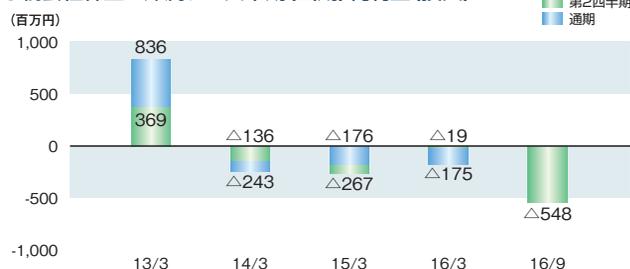
●売上高



●経常利益(損失)



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)



●総資産・純資産



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第20期中間報告書をお届けいたします。当社事業のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは、事業拡大の取り組みとして「既存コアビジネスのさらなる成長」を第一の成長エンジン、「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」を第二の成長エンジンと位置付け、これら二つの成長エンジンの駆動により、飛躍的に売上高を増大させることで、営業利益の黒字化から増大を目指しております。

そのような中、音声認識技術を活用した議事録作成や文字起こし向けのプロダクト販売およびサービス事業が、従前の自治体に加え一般の民間企業およびテレビ局や新聞社などの報道機関に拡がり始めました。あわせて、製造・物流分野や建築分野における音声入力の需要が顕在化し、音声認識市場を着実に拡げてきております。

これらは、当社グループが重点的に取り組んできた、従前からのプロダクト販売とソリューション事業の拡大に加え、時流のクラウドコンピューティングとIoT (Internet of Things) を取り込んだボイス・コミュニケーション・サービスの埋め込みの効果が出始めたことを意味しております。これからは、これらに加え、第3次人工知能 (AI) ブームのトリガーとなった深層学習 (ディープニューラルネットワークなど) や当社のAI (増幅智: Augmented Intelligence) などが利用者にとって魅力的な超音声認識 (“Beyond ASR”: Beyond Automatic Speech Recognition) サービス (音声認識価値を超えた高付加価値サービス) を次から次へと世に送り出し、日本の音声認識市場の拡大をリードすることになるでしょう。これは、国内にとどまらず、アジア圏に拡大し、利用者を大幅に増大させ当社に飛躍的な売上の増大をもたらすはずで、時代は愈々動き始めました。

今後も当社グループ一丸となり、事業価値の増大による企業価値の向上に邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましても、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

音声認識市場の拡がり

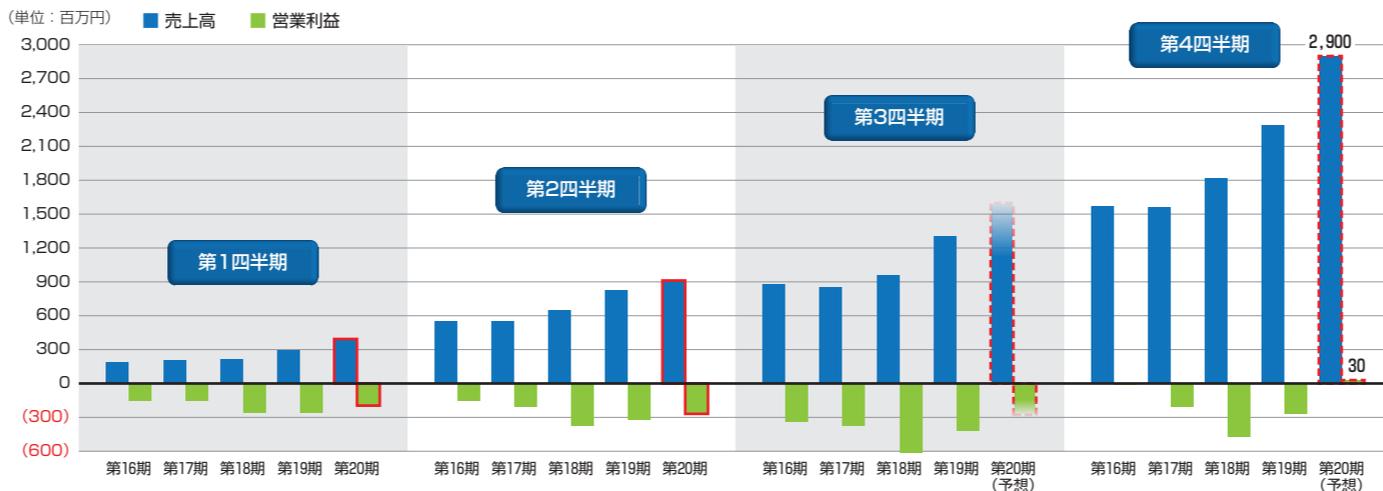


議事録作成や文字起こしが、自治体と並行して民間企業でも拡がり始めました。

製造・物流分野や建築分野における音声入力の需要が顕在化し始めました。

ほぼ全ての事業部門および子会社において当初計画通りに推移

四半期別推移(連結累計)【売上・営業利益】



イスラエルのテクノロジーベンチャーである AudioBurst Ltd.との資本・業務提携

▶ AudioBurst Ltd.との間で資本・業務提携を行い、平成28年10月25日付で出資に関する払い込みが完了



音声分析・蓄積・検索テクノロジー

“Beyond ASR”

- ▶ 音声認識を超えた価値の提供 (第5世代: 超音声認識)
- ▶ オーディオに含まれる言語情報からテキスト、動画などを検索

イスラエルのテクノロジーベンチャーであるAudioBurst社は、深層学習をはじめとする最先端の人工知能と、自然言語処理技術や意図解釈技術等によって、米国市場を中心に様々なスピーチ、テレビ、ラジオ、ネット動画等の音声データを分析し、それを聴く人(サービス利用者)にとって最適で効果的な時間(1~3分)に再編成した音声コンテンツを提供するサービスを行っています。

当社は音声認識を超えた価値の“Beyond ASR”(超音声認識)サービスの1つとしてAudioBurst社のサービスや共同開発したサービスを日本およびアジア市場に導入・展開してまいります。